



すべての職員が人口5万人に向けて
取り組む

職員全体の定住促進の意識は

五十嵐 多喜子 議員

答 すべての職員が人口5万人に向けて取り組む

問 市は初めて定住人口増加の取り組みを掲げた。平成28年度末5万人達成は非常に厳しい。計画には記載がないが職員全体の定住促進の意識はどれくらいか。

市長 全ての職員が5万人の筑後市に向けて熱意を持って取り組むように働きかけている。市外居住職員にも市内居住に結びつくよう住み良いまちづくりを力をつけたい。

市内居住に 結びつく施策を

問 他の自治体はどうか。企画財政課長 久留米市では定住促進戦略を策定。補助金制度は我が市の方が充実している。

問 筑後市では職員に対して市民にしたようなアンケートをとる予定はあるか。

市長公室長 定住促進策推進のためのサンプルとして、意向調査として可能ではないかと考える。

問 職員の意識を知る上では、そこに住んでいる理由を是非明らかにしてほしい。

総務部長 採用時は市内に限定していないため半分は市外から採用。ここ6年間で9人が筑後に移動して来ている。市内、市外問わずただけ筑後目線で仕事をしてくれるのが大事だと思っている。

通学路の安全対策は

近藤 佳治 議員

答 緊急合同点検を行い順次進める

問 全国的に登下校の列に、車が突入する交通事故が発生しているが、筑後市の取り組みは。

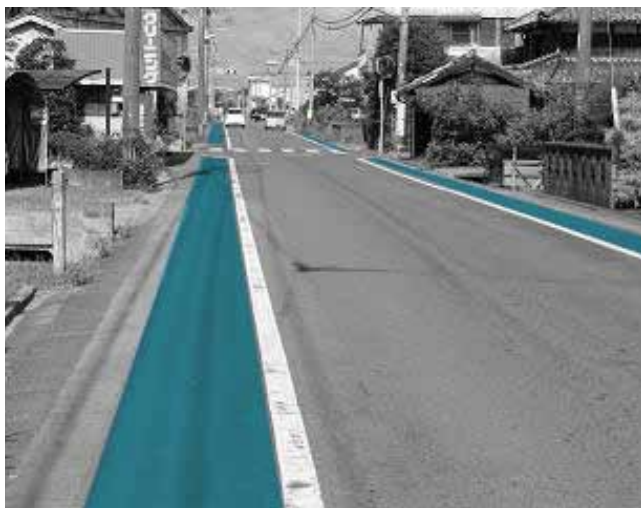
市長 小学校区ごとに緊急合同点検を行い、対策が必要な95の危険箇所について、地元や各道路管理者、警察とも協議しながら、順次対策を進めている。

問 グリーンベルトの施工基準は

問 歩道が設置できない幅の狭い道路の安全対策の1つにグリーンベルトがあるが、その施工基準は。

道路・水路課長 グリーンベルトの設置には明確な基準はない。道路の幅員の中で安全な車道幅員をまず確保し、施工している。計画の際、地元の区長を通じて関係者の考え方を聞き、警察と協議し実施している。

また現道で車道幅を確保しても両側に十分な通行帯を確保できれば、両側での設置も可能となっている。



グリーンベルト(古島校区)